

本町まちづくりニュース

本町まちづくり協議会 会長 古山博 (二本松商工会議所内 TEL: 23-3211)

■古山会長あいさつ

■かつて、これほどまで「本町」が注目されたことがあったでしょうか？新聞などで報道のとおり、神社下お祭り広場整備の先行事業として実施した「高校生が描く大壁画」がたいへんな反響を呼んでいます。(裏面記事参照)

■猛暑の中、連日奮闘いただいた安達高校、福島西高校の生徒諸君、ご指導いただいた福島西高校青木先生、安達高校安田先生には心から御礼申し上げます。

■また、私どもが感動したのは、高校生がひたむきに取組む姿を見て、沢山の方が、それこそお名前も知らない通行人の方が、差入れなどのご好意を寄せてくださったことです。

■今回の事業で、本町のまちづくりは大きな財産を得ることができたように思います。金額では表せない活性化に向けた皆の芳志、「こころ」が大きく育ったように思うのです。

■若連が力強く躍動する壁画を見ていると、いろいろ楽しい夢がわいてきます。通年でお祭りを体験できるものができないか、このへんに太鼓台倉庫を展示もできる形で作れないか、などなど…

■今回の事業を突破口として、さらに本町一丸となって夢を実現できるよう、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

(文責編集部)

■中心市街地活性化協議会 設立される、(ˊ0ˋ)ノ

■民間主導のまちづくりを総合的・一体的に支援するのが中心市街地活性化基本計画(市策定)です。これに民間の総意をまとめ、提言するための法律に定められた組織である中心市街地活性化協議会が設立されました。(裏面記事参照)

■商工会議所の遠藤重孝会頭が会長で、副会長3名は、奇しくも全て本町まちづくり協議会の役員となりました。皆様の提言が公的なまちづくり事業に反映される体制がガッチリ固まりました。

■まちづくり交付金事業

いよいよまとめの段階!

■平成21年3月が期限の若宮～亀谷間の賑わいづくり事業である都市再生整備計画(まちづくり交付金事業)がまとめの時期となりました。

■駅前の市民交流拠点施設計画など本町活性化に関連する重要な事業の中身を決める段階です。下記の要領で、本町まちづくり協議会役員会・まちづくり活性化委員会合同会議を開催します。今回はご意見のある方、誰でも参加できる公開の会議として開催します。ふるってご参加ください。

役員・まちづくり活性化委員 合同会議のお知らせ

☆まちづくり交付金事業への、これまで市に要望してきた内容を最終的に検討する会議です。

☆参加費無料。ぜひ、ご参加ください!

日時 9月21日(金)

午後7時～9時まで

場所 二本松商工会議所

10月4・5・6日の お祭り応援し隊 参加者募集

新しい本町まちづくり「あだたち句の駅事業」の一環として10月4・5・6日の提灯祭り期間の清掃ボランティアを募集します。主にゴミ拾い、ゴミ箱の管理になります。

○時間：午前8時30分～午後6時30分頃。
(参加者の都合のつく時間帯で協力ください。)

○参加資格：高校生以上。
お祭り応援し隊に参加される方は保険に入る為、事前に登録してください。

○参加者準備物：軍手・ごみとりハサミ等

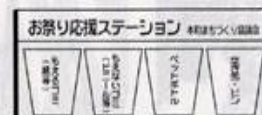
■申込・申込用紙は

柵松屋印刷所内 松本 太まで

(本町まちづくり協議会 庶務)

TEL22-0459

FAX23-5193



協議会の各種会議などの資料は二本松商工会議所で差し上げます。遠慮なくいらしてください!!



一本松ちようちん祭り 巨大壁画が完成！ — 地元高校生が製作に協力 —

二本松市の高校生が中心市街地活性化対策に協力して市内のメインストリートの低層壁面に日本三大ちようちん祭り（ちようちん祭り）の巨大壁画の製作を進めていたが、八月十一日完成し、披露式が行われた。壁画製作は、本町まちづくり協議会（古山博会長）がすすめている「あだたら初」の駅事業のひとつで、本町通り空間化対策として賑わいづくり総合支援を受けている事業である。今回はソフト事業で、中心市街地にふるさとの良さをアピールする巨大壁画を出展させることで、まちなかへの注目を高め、未来を担う若者に地域の良さを再認識して

もらう目的で事業に取り組んだ。本町通り沿いの安達屋本館の壁面に横二十八メートル、縦三メートルにわたり、七つの太鼓台が飾られる祭りの初日の「七町会回引き廻し」を題材に、御神火祭、太鼓台の組組でスギナリを運ぶ若連の姿、提灯を打ち廻りする七つ太鼓台、囃子を演奏する子供達、引き廻しの様子など七カットにまとも物師風に色鮮やかに描いている。デザインは、高校生からアイデアを公募し、それを基に福島西高校の青木良に美術教師と安達屋高校の安田隼子美術教師が原画を作った。製作には、地元の安達屋校美術部十

六人と二本松市出身の福島西高校美術部七人の生徒が延暑の中作業に励み、同教師の指導で描いた。披露式は、地元本町夏祭りともちまち歩行者天国の開催日にあわせて行われ、協議会頭、古山会長、三原市長が高校生とともに仕上げの最後の一番を入れ、巨大壁画完成を祝った。本町まちづくり協議会は今後、あだたら初駅事業として、お祭り拠点や駐車場の整備、通りの改良工事等ハード事業について、行政への働きかけも含めて検討する。



▲完成の最後の一番を入れる皆さん

▲壁画作成に協力していただいた皆さん

民意集約・基本計画に提言 — 二本松市中心市街地活性化協議会 設立 —

去る八月二十二日、二本松商工会議所会館でNPO法人まちづくり二本松と二本松商工会議所を必須構成員として、二十三の団体企業で二本松市中心市街地活性化協議会協議会が設立された。二本松市中心市街地活性化協議会は七月四日に設立された二本松市中心市街地活性化協議会準備会準備会を母体とし、まちづくり二本松のNPO認定と市の中心市街地整備推進機構の協定を持つての今

回の設立となった。今回設立された協議会は、今後市が策定する二本松市中心市街地活性化基本計画（基本計画）に対し、中心市街地の活性化に寄与する種々のトータルコーディネート役割を担うこととなる。特に基本計画に実効性を確保するために、民間の立場から能動的に民意の集約に努め、市に対し積極的に提言を行うこととなる。当該協議会は昨年八月の申請法の改正以後、全国では五十

七番目、東北では七番目県内にあつては会津若松市、白河市に次いで三番目の設立となった。

総会では会長に遠藤重孝準備会会長（二本松商工会議所会頭）を選任したほか、事業計画予算等について協議した。総会終了後は記念講演会として、まちづくり長野市タウンマネージャーの服部年明氏が中心市街地の活性化を目指して「長野市の実践例から」をテーマに講演された。服部氏は具体的な事例を示しながら、中心市街地のまちづくりは「改正中置法の今回が国の支援を受けられる最後のチャンスではないか」との見解を示し、「今回の協議会制度を活用して積極的に取り組むべきだ」と語った。

- 【役員】
- ◆会長 遠藤重孝（二本松商工会議所会頭）
 - ◆副会長 佐藤明（NPOまちづくり二本松理事長）、古山博（二本松町内会長代表幹事）、安達健寿（二本松市商店街連合会会長）
 - ◆監事 白井誠（若宮松岡まちづくり協議会会長）、安斎文彦（二本松地区ハイヤータウン経営者協議会会長）



▲今朝が講演のチャンスと強調された服部氏

- 【運営委員会委員】
- 岡村晋（NPOまちづくり二本松副理事長）、松本太（同専務理事）、石塚孝（二本松商工会議所会頭）、高橋寛（同専務理事）、白井誠（同常議員、商業活性化委員長）、大河内守夫（TMOにほんまつ委員長）、高橋淳記（同幹事会幹事）、安斎文彦（準備会副会長）、安斎一男（同建設部長）、斎藤孝太郎（若宮松岡まちづくり協議会副会長）、古山博（本町まちづくり協議会会長）、渡辺重（亀谷まちづくり協議会事務局長）、熊耳宏吉（倉田眼科まちづくり協議会会長）、佐藤健一（協議会タウンマネージャー）
 - 【アドバイザー】
 - 福島県東北地方振興局長
 - 福島県東北建設事務所長
 - 福島県警二本松警察署長
 - 中小企業基盤整備機構東北支部長
 - 【アドバイザー】
 - 福島県産業振興七ヶタム理事



▲民意の集約を目指して設立された二本松市中心市街地活性化協議会